

アルデ 排気型集中換気システム



集合住宅・戸建て住宅用
AMPV DC100N

ユーザーメンテナンスガイド —必ずお読みください—

《警告》安全のために必ずお守りください。

- ☞ ご使用前に、この《安全のために必ずお守りください》をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ☞ ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

●表示の意味は次のようになっています。

⚡	危険	誤った取扱をしたときに、死亡または重傷などの危険が切迫して生じることが想定されるもの。
!	警告	誤った取扱をしたときに、死亡または重傷などを負う可能性が想定されるもの。
!	注意	誤った取扱をしたときに、傷を負う可能性が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。

⚡《危険》

◎分解や改造をしない。

モーターの故障につながり、思わぬ発熱などで火災などの原因になります。また、漏電、感電などの事故やファンの故障の原因になります。モーター本体には、アルデおよび代理店が指定する部材、部品以外は使用しないでください。

◎動作中は手を触れない。

アルデ本体には、絶対動作中には手を触れないでください。感電、シロッコファンによる接触事故などの原因になります。

!《注意》

◎アルデ本体の取り付け方法を間違えない。

アルデ本体は同梱の施工マニュアル以外の方法で取り付けた場合、振動、騒音、モーター故障の原因になります。

アルデ本体は屋外には取り付けられません。

◎モーター本体の接続線は強く引っ張らない。

強く引っ張ることにより、中の結線が外れ、漏電やモーター故障の原因になります。

◎空気が流れる場所は塞がない。

ドアのアンダーカット、らんま、壁の給気口などの空気の通り道などは塞がないでください。換気がスムーズに行われない原因になります。また、外排気フードには防虫網は取り付けないでください。排気量の減少の原因となります。

◎アルデ換気計画設計書の保管。

ダクトの配管経路に何か不都合が生じたとき、確認するために、必ず業者から、アルデ換気計画設計書を受取り、保管しておいてください。

◎アルデ本体は24時間連続運転が基本です。

アルデ換気システムの換気量コントローラーには、ON、OFFのスイッチは付けられておりません。換気の基本は、24時間連続的に動くことを基本にしています。

《運転チェック》

- ◎手または、ティッシュなどで排気が正常に行われているかチェックしてください。
手のひらで排気を感じられないか、ティッシュがガラリに吸い付くかで、確認することができます。

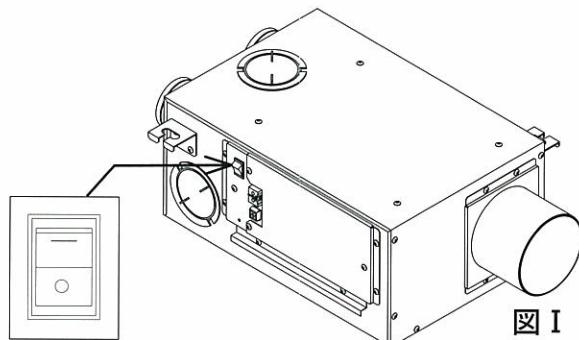
アルデ ユーザーメンテナンスガイド 集合住宅・戸建て住宅用AMPV DC100N



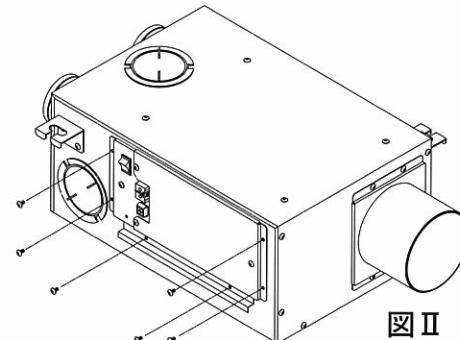
■ AMPV DC100N ファンの清掃と交換について

①初めに必ずアルデAMPV DC100N本体メンテナンスカバー面（図I）に付いているメンテナンススイッチを切り（○印）にしてください。換気は24時間連続して動くことを基本としていますので、アルデ換気システムの換気量コントローラーにはON、OFFのスイッチは付いていません（運転中は換気量コントローラーは赤点灯しています）。

②メンテナンスカバーを固定している6箇所（図II）のビスをプラスドライバーで外し、メンテナンスカバーベースの手掛け部を引くとファンユニットベースを手前に引き出すことが出来ます（図III）。

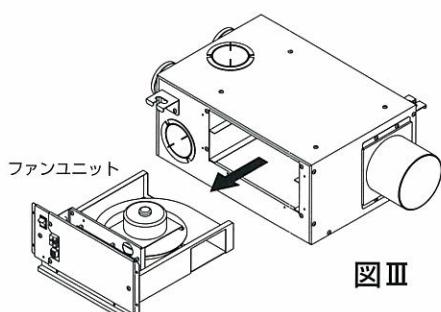


図I

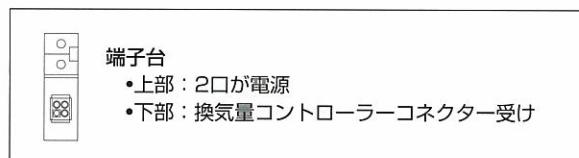


図II

メンテスイッチ
○印が切



図III

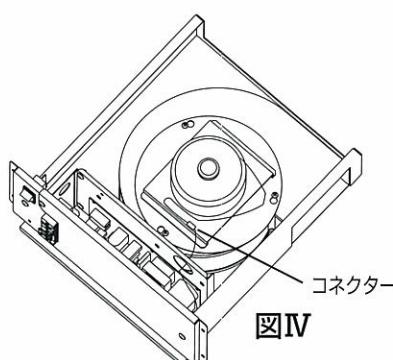


端子台

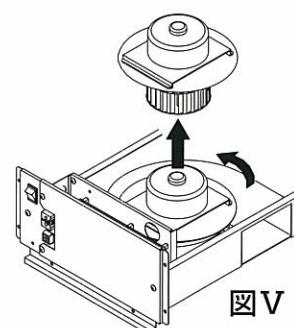
- ・上部：2口が電源
- ・下部：換気量コントローラーコネクター受け

③メンテナンスカバーにある端子台の主電源からの結線（上部2本差込線）と、換気量コントローラーのコネクタを外すと、換気本体からファンユニットベースを取り外すことができます。
(注：主電源からの結線を外すときは、端子台横の黄色部をマイナスドライバーで押しながら線を抜いてください。)

④ファンケーシング部にあるコネクターを外します。ファンケーシング部のだるま穴に3箇所で固定しているビスを緩めます（図IV）。モーター部を時計と逆（左に）回し、モーターファンを上方向に引き上げるとモーターと羽根は外れます（図V）。



図IV



図V

⑤ファン清掃の場合は、（図IV）の状態で小さなブラシ、または使い古しの歯ブラシや掃除機の小さな吸い込み口を使い清掃をしてください。汚れのひどい場合は、ブラシや布に中性洗剤を含ませファン羽根についた汚れを1枚1枚拭き落としてください。その後乾いた布で再度ファンの羽根を1枚1枚拭いてください。!
《注意》汚れの拭き取にはシンナー等の溶剤系の物は絶対に使わないでください。ファンの破損、劣化の原因になります。

!《注意》モーターファンを清掃、交換の際、必ずモーター側を持つようにして下さい。また、モーターファンを置く場合はモーター側を下にして置くようにしてください。（荷重がかかり軸ぶれの原因になります）

⑥ファン交換の場合は、④と（図V）の要領でモーターと羽根を外し、新しいモーターと羽根に交換してください。

⑦ファン清掃やファン交換が終わりましたら、これまでの手順と逆に元に戻してください。

■ AMPV DC100N 給気口・フィルターのクリーニング

(1) 給気グリル・フィルターの取り外し方(給気口セットの構成は下図の通りです。)

- ①室内壁に設置されている給気口から換気に必要な新鮮空気が室内に供給されます。日常の定期的な手入れも換気の動きを十分にするために必要なことです。フィルターは2~3ヶ月に1度汚れ具合によって、清掃をしてください。
- ②室内壁についている、プラスチック製の給気グリルは手で軽く左右に回すか、引くことにより簡単に取れます。給気グリルを外すと、壁に納められているグリル受けの中に、黒いスポンジ製のフィルターがついています。
- ③フィルターを取り出してください。フィルターについている埃などをまず払い落とし、汚れの激しいときは、水洗いか中性洗剤を使い軽く揉みながら洗ってください。

!《注意》洗剤として中性洗剤以外は絶対に使用しないでください。フィルターの劣化、損傷の原因となります。

(2) 給気グリル表面の手入れについて

- ①給気グリル表面についている汚れや埃もフィルターと同じ要領で清掃してください。汚れの激しい場合は水か中性洗剤を含ませた布などできれいに拭き取るように洗浄をしてください。給気グリル裏面には、プラスチック製の薄い羽根状のダンパーが4枚ついています。これも同様に清掃してください。

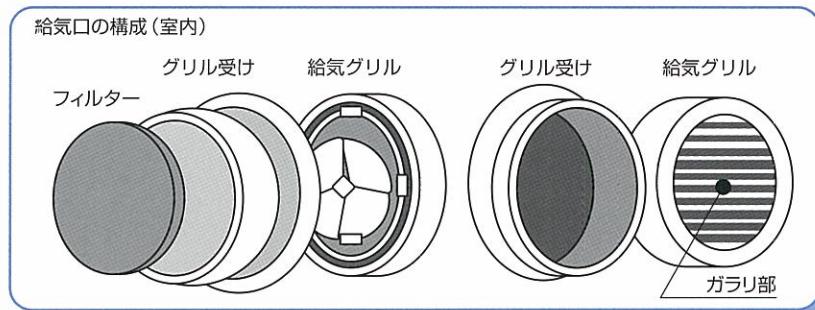
!《注意》洗剤として中性洗剤以外は絶対に使用しないでください。給気グリル、ダンパーの劣化、損傷の原因となります。

- ②最後に、清掃が終わり、フィルターや給気グリルが乾いたのを確認してから、フィルターをグリル受けに戻してください。フィルターを戻し終えてから給気グリルをグリル受けにはめ込んでください。

!《注意》給気グリルのガラリ部は必ず上向きに取り付けてください。

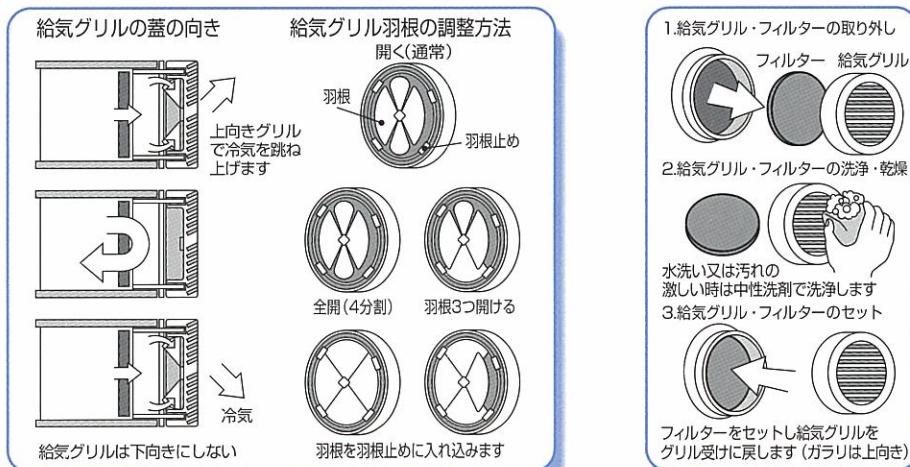
(3) 給気グリルの正しい向きについて

下図のように、給気グリルの表面ガラリ部が上向き方向になっているか確認してください。上向き方向になっていると、外気による気流感は感じにくくなります。



(4) 給気グリルダンパー(羽根)の調整方法について

下図のように給気グリルダンパー4枚の使い方で外気の調整が任意にできます。



アルデ ユーザーメンテナンスガイド 集合住宅・戸建て住宅用AMPV DC100N



■ AMPV DC100N 基本的な動作について

●アルデ換気システムは24時間の連続運転が基本です。運転を止める時には、本体のメンテナンススイッチかブレーカーを切ってください。(図1)

●換気量コントローラーを使用するときの目安は下記の事項を目安にしてください。

①●(大)、●(中)

在宅時には、このモードで運転をしてください。

②●(小)

このモードは、外出もしくは長い期間留守にする時のみご使用ください。

就寝時にはこのモードでの運転は絶対しないでください。

(臭気がこもったり、空気が渾んでしまう場合があります)

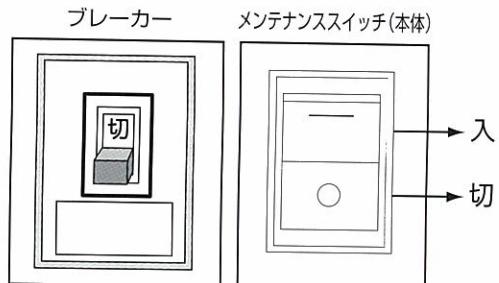


図1

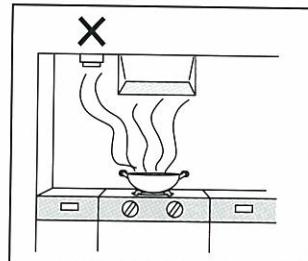


図2

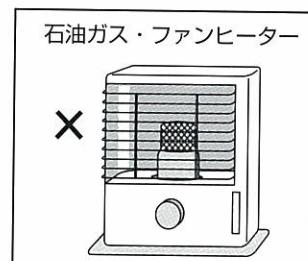


図3

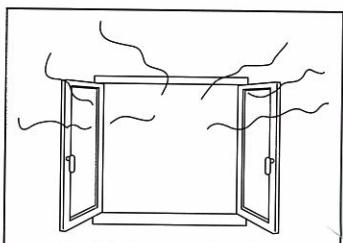


図4

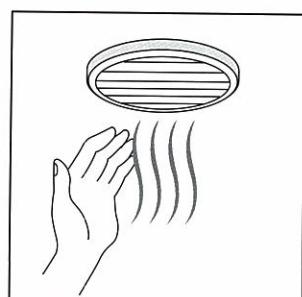


図5

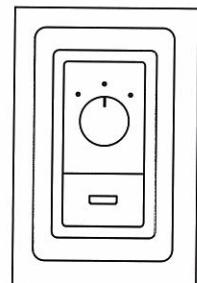


図6

●アルデ換気システムのキッチンの排気グリルは、レンジフード用のものではありません。レンジを使用して調理する時は、必ずレンジ用換気扇を使用してください。(図2)

●アルデ換気システムの換気計画は、通常の生活状態での空気汚染を防止することを基本に計算されています。下記の事項は必ず守ってください。

※一酸化炭素中毒をアルデ換気システムで防止することは出来ませんので、開放型ストーブ（燃焼ガスを室内に放出する）は絶対に使用しないでください。温水パネルヒーター、電気ヒーター等燃焼ガスを室内に放出しないタイプは問題ありません。(図3)

※煙、臭い、異常な水蒸気などが発生した場合には、部屋の窓や勝手口の開放またはレンジフードファンを作動させることにより、一時的に排気を促進させなければなりません。(図4)

●アルデ本体から発生すると思われるモーター音は、押入れの中など仕切られた場所に設置する程度でも、寝室の基準騒音許容レベルである35ポンを越えることはありませんが、それでも運転音が気になる場合には、アルデ本体の設置場所の防音工事をすることにより軽減できる場合もあります。

アルデ換気システムは、24時間回り続けています。何かいつもと違うなと思ったら次の点をチェックしてください。

●臭いが前よりも抜けにくい感じがする。湿気を前より感じるようになった。埃が前よりも多くなったような気がする。以上のことを感じられたり、気になり始めたら下記の事項をチェックして、アルデ換気システムが正常に動いているか確認してください。

①各排気口に手を当てて、空気が引っ張られているか確認する。(図5)

②ブレーカー回路がOFFになっていないか、または本体にあるメンテナンススイッチが何かの理由で切りになっていないか確認する。

(換気量コントローラーの赤点灯が表示していない) (図6)

●アルデ本体の運転音が異常に高く、モーターの騒音が気になるようになったら下記の事項をチェックしてください。

①アルデ本体が、設置場所の柱や壁などの構造物や軽天などに接触もしくは共鳴して異常な音を発生させていないか、本体回りを確認する。

②アルデ本体内部のシロッコファンが、何かに接触して異常な音を発生させていないかを確認する。